

葬られた古代吉備の歴史



歴史学者
磯田 道史氏

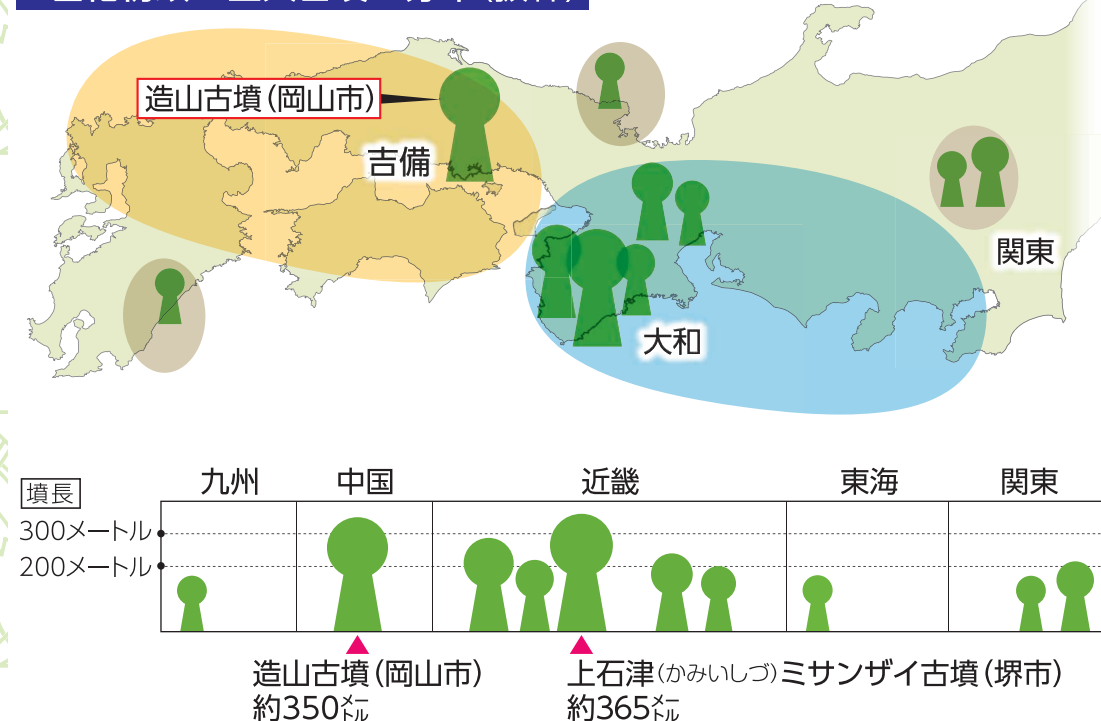
いそだ・みちふみ 1970年、岡山市生まれ。慶應義塾大学大学院文学研究科博士課程修了。静岡文化芸術大学教授などを経て2021年から国際日本文化研究センター教授。岡山城の「令和の大改修」の際は天守の展示を監修した。



考古学者
亀田 修一氏

かめくら・しゅういち 1953年、福岡県生まれ。九州大学大学院文学研究科修士課程修了。岡山理科大学で助教授や教授などを歴任し、2022年から同大学名誉教授。専門は東アジア考古学。著書に「日韓古代瓦の研究」などがある。

5世紀初頭の巨大古墳の分布(抜粋)



榑築遺跡(倉敷市)

「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま

～古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語～

2018年5月、岡山と倉敷、総社、赤磐の4市にまたがる「桃太郎伝説」の生まれたまち「おかやま」が、桃太郎伝説の物語や、文化庁の日本遺産に認定された「桃太郎伝説」が伝わるストーリーは、広く知られた昔話で、吉備津彦命による鬼神・温羅退治の伝承という、「古事記」や「日本書紀」にも記述のある歴史的背景を結び付け、親しみやすい内容になっている。伝承の舞台となった史跡や重要文化財、古墳などを構成文化財の中心に据え、今回のシンポジウムで大きく取り上げられた造山古墳(岡山市)や作山古墳(総社市)、両宮山古墳(赤磐市)などの古墳群をはじめ、岡山市の吉備津神社や吉備津彦神社、倉敷市の榑築遺跡・遺跡、また桃やきびだんごといった名物も並ぶ。古代の伝説を今に伝える数々の風景や品々が、私たちに神秘的なストーリーへと誘う。知名度の高い「桃太郎」を前面に押し出すことで、国内外への高い発信力も期待されている。



日本遺産
桃太郎伝説

日本遺産シンポジウム「葬られた古代吉備の歴史」(岡山、倉敷、総社、赤磐の4市でつくる日本遺産「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま)推進協議会主催)が岡山芸術創造劇場ハレノワ(岡山市北区表町)で開かれた。出演者は岡山市出身の歴史学者・磯田道史氏、考古学者の亀田修一氏、岡山市長・大森雅夫氏、コーディネーターに考古学者・草原孝典氏を迎え、古墳時代の吉備が大和と二つ並びの輝かしい歴史を有していたのではないかとという説について議論を深めた。

はじめに

大森 5世紀初頭に造られたと推定される全長約350メートルの造山古墳(岡山市)は、同時期の古墳としては日本最大級。古墳は権威と富の象徴でもあり、この時代の吉備に強大な力を持つ豪族がいたことを示している。一般的な中学の教科書では3世紀ごろに大和王朝が登場し、全国の豪族はその支配下にあったように書かれている。しかし本当にそうだろうか。多くの研究者と議論する中で、われわれは吉備と大和の二頭政治が行われていたのではないかと考えた。「この説で教科書を塗り替える」くらいの意気込みで岡山から情報を発信していきたい。

5世紀初頭は「吉備と大和の二頭政治」

草原 新たな古墳時代像とは。大森 吉備に巨大な勢力が存在した形跡は多い。414年につく

なぜ？ 最大級の古墳が吉備に 大森氏

草原 造山古墳の隣に、榑山古墳(岡山市)からは馬形帯鉤(馬の形をしたベルトのバックル)のような役目をする金具など、朝鮮半島を経由して吉備に持ち込まれたと思われるものが多く出土している。高塚遺跡(岡山市)や菅生小学校裏山遺跡(倉敷市)は、渡来人が住んでいた村だと考えられる。亀田 390年代ごろから吉備

渡来人からみた古代吉備

大森 5世紀初頭に造られたと推定される全長約350メートルの造山古墳(岡山市)は、同時期の古墳としては日本最大級。古墳は権威と富の象徴でもあり、この時代の吉備に強大な力を持つ豪族がいたことを示している。一般的な中学の教科書では3世紀ごろに大和王朝が登場し、全国の豪族はその支配下にあったように書かれている。しかし本当にそうだろうか。多くの研究者と議論する中で、われわれは吉備と大和の二頭政治が行われていたのではないかと考えた。「この説で教科書を塗り替える」くらいの意気込みで岡山から情報を発信していきたい。

大森 5世紀初頭に造られたと推定される全長約350メートルの造山古墳(岡山市)は、同時期の古墳としては日本最大級。古墳は権威と富の象徴でもあり、この時代の吉備に強大な力を持つ豪族がいたことを示している。一般的な中学の教科書では3世紀ごろに大和王朝が登場し、全国の豪族はその支配下にあったように書かれている。しかし本当にそうだろうか。多くの研究者と議論する中で、われわれは吉備と大和の二頭政治が行われていたのではないかと考えた。「この説で教科書を塗り替える」くらいの意気込みで岡山から情報を発信していきたい。



岡山市長
大森 雅夫氏

おおもり・まさお 1954年、岡山市生まれ。東京大学法学部卒。77年に建設省(現国土交通省)に入り、内閣府政策統括官(防災担当)、国土交通省国土政策局長などを歴任。2013年10月の岡山市長選で初当選し、3期目。

大量の鉄器を輸入し台頭 磯田氏

草原 「倭の五王」の記述がある5世紀ごろ、吉備で全長100メートルを超える大型古墳が6基も築かれた。4世紀ごろ、吉備は大和王権とどのような関係だったのか。

謎の4世紀と「倭の五王」の5世紀

大森 吉備の人々は朝鮮半島南部の「伽耶」地域と直接の行き来していた。彼らは足守川をさかのぼった地域、今の賀陽郡・賀陽は「かや」とも読む)に住んでいたのだらう。そこは榑築遺跡(倉敷市)を造った人々の住む、当時日本に3、4カ所しかない大規模な都市だったはずだ。渡来人の人々は鉄に関するさまざまな技能を持ち、存在感を示していた。

大森 吉備の人々は朝鮮半島南部の「伽耶」地域と直接の行き来していた。彼らは足守川をさかのぼった地域、今の賀陽郡・賀陽は「かや」とも読む)に住んでいたのだらう。そこは榑築遺跡(倉敷市)を造った人々の住む、当時日本に3、4カ所しかない大規模な都市だったはずだ。渡来人の人々は鉄に関するさまざまな技能を持ち、存在感を示していた。

渡来人の最新技術得て勢力拡大 亀田氏

草原 朝鮮との貿易、戦争などを契機に急成長したはずの吉備の勢力が、なぜか「日本書紀」ではほとんど取り上げられていない。磯田 吉備の衰退は「高句麗」「火山灰」「鉄」「馬」という四つのワードで説明できる。高句麗の「馬に乗った兵が素早く矢を放つ」戦法に倭の軍は苦しめられた。この最新鋭の軍隊に対抗するために、雄略天皇の時代、長野、群馬県などにある、牧場に適

その吉備の歴史は葬られた

大森 好太王碑では400年前後に倭の軍勢が朝鮮半島で軍事行動を行っていたと書かれているが、倭の誰が攻めたのかの記述はない。これは倭がこの時期には統一されておらず、単独の勢力からなる軍ではなかったからではないだろうか。

大森 好太王碑では400年前後に倭の軍勢が朝鮮半島で軍事行動を行っていたと書かれているが、倭の誰が攻めたのかの記述はない。これは倭がこの時期には統一されておらず、単独の勢力からなる軍ではなかったからではないだろうか。



5世紀初頭に造られたと考えられる造山古墳(岡山市)全長約350メートルは、同時期では全国でも最大級の大きさだった



榑山古墳(岡山市)出土の青銅製の金具「馬形帯鉤(たいこう)」は、4世紀ごろに朝鮮半島で流通したタイプとされ、吉備と半島とのつながりを示す(宮内庁書陵部所蔵)

大森 好太王碑では400年前後に倭の軍勢が朝鮮半島で軍事行動を行っていたと書かれているが、倭の誰が攻めたのかの記述はない。これは倭がこの時期には統一されておらず、単独の勢力からなる軍ではなかったからではないだろうか。

大森 好太王碑では400年前後に倭の軍勢が朝鮮半島で軍事行動を行っていたと書かれているが、倭の誰が攻めたのかの記述はない。これは倭がこの時期には統一されておらず、単独の勢力からなる軍ではなかったからではないだろうか。

大森 好太王碑では400年前後に倭の軍勢が朝鮮半島で軍事行動を行っていたと書かれているが、倭の誰が攻めたのかの記述はない。これは倭がこの時期には統一されておらず、単独の勢力からなる軍ではなかったからではないだろうか。

日本遺産とは

日本遺産は「地域の歴史的な魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリー」を文化庁が認定する制度。既存の文化財の価値付けや保全のための新たな規制を図ることを目的としたものでなく、地域に点在する遺産を「面」として活用し、発信することによって地域活性化を図ることが目的だ。

2018年5月、岡山と倉敷、総社、赤磐の4市にまたがる「桃太郎伝説」の生まれたまち「おかやま」が、桃太郎伝説の物語や、文化庁の日本遺産に認定された「桃太郎伝説」が伝わるストーリーは、広く知られた昔話で、吉備津彦命による鬼神・温羅退治の伝承という、「古事記」や「日本書紀」にも記述のある歴史的背景を結び付け、親しみやすい内容になっている。伝承の舞台となった史跡や重要文化財、古墳などを構成文化財の中心に据え、今回のシンポジウムで大きく取り上げられた造山古墳(岡山市)や作山古墳(総社市)、両宮山古墳(赤磐市)などの古墳群をはじめ、岡山市の吉備津神社や吉備津彦神社、倉敷市の榑築遺跡・遺跡、また桃やきびだんごといった名物も並ぶ。古代の伝説を今に伝える数々の風景や品々が、私たちに神秘的なストーリーへと誘う。知名度の高い「桃太郎」を前面に押し出すことで、国内外への高い発信力も期待されている。